

令和3年度(2021年度)

管理事業名	文化振興事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 1	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化の振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 22 文化振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名 文化振興事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 市民に文化芸術の鑑賞と発表の場を提供するため、幅広い文化事業を実施する 【概要】 ・舞台芸術の鑑賞の機会を提供するとともに市民参加型の公演等を実施 ・吹田の若い才能を発掘し育成するために青少年が出演するクラシック音楽のコンクール等を実施(ティーンズクラシックフェスティバル) ・芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供するために市民文化祭を開催 ・創作意欲・技術の向上と身近な場での芸術鑑賞の機会を提供するために吹田市公募美術展覧会を実施 ・市民の芸術活動を発表する場を提供するために南山田市民ギャラリーの管理運営を行う						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義	
市民劇場等入場者数	人	1,742	3,215	4,707	入場者数	
ティーンズクラシックフェスティバル入場者数	人	1,682	897(449)	3,122(2,057)	出演者を含む入場者数(うち動画視聴者数)	
吹田市公募美術展覧会出品点数	点	290	180	-	出品点数、令和2年度は賞の選定はなく展示のみ	
市民文化祭参加者数	人	22,360	12,845	15,350	出演者を含まない市民文化祭参加者数	
市民ギャラリー展示団体数	団体	51	24	30	展示団体数	
南山田市民ギャラリー来館者数	人	4,584	690	1,377	来館者数	
成果の説明	新型コロナウイルス感染症の影響による事業規模縮小など制約のある中でも、感染症拡大防止策を講じて実施したため、昨年度に比べると実績値は増加しています。市民劇場は、令和元年度及び令和2年度は文化会館改修のため一部を他の公共施設で実施しましたが、令和3年度は吹田市文化会館の大ホール・中ホール等を活用して公演を実施することができました。					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	144	24	24	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	573	541	△33
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,421	13,642	13,457	△185
経常収入 小計(a)	3,565	14,239	14,022	△218
給与関係費	43,747	27,458	28,362	904
物件費	24,258	49,050	45,127	△3,923
維持補修費	-	923	-	△923
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	330	260	291	32
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	228	228	228	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,426	1,972	2,144	172
退職手当引当金繰入額	2,762	△9,911	3,048	12,959
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	74,752	69,980	79,200	9,220
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△71,187	△55,741	△65,179	△9,438
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△71,187	△55,741	△65,179	△9,438
一般財源充当額	70,504	68,868	63,540	△5,328
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△683	13,127	△1,639	△14,766

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	市民劇場等入場料収入 13,005千円 令和2年度に文化会館リニューアルオープン記念事業を実施したため、対前年度比は減
物件費	市民劇場等運営委託料 41,054千円 令和2年度に文化会館リニューアルオープン記念事業を実施したため、対前年度比は減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,565	14,239	14,022	△218
行政サービス活動支出	74,069	83,107	77,561	△5,545
行政サービス活動収支差額	△70,504	△68,868	△63,540	5,328
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△70,504	△68,868	△63,540	5,328
一般財源充当額	70,504	68,868	63,540	△5,328
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	令和2年度は文化会館リニューアルオープン記念事業を実施したため、行政サービス活動収入・支出は前年度と比較してともに減少しました。
決算額の 主な内容	令和2年度は文化会館リニューアルオープン記念事業を実施したため、行政サービス活動収入・支出は前年度と比較してともに減少しました。

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	200 円	令和4年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり209円のコストがかかっています。
	令和2年度	376,944 人	186 円	
	令和3年度	378,781 人	209 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,972	2,144	172
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,972	2,144	172
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	7,175	6,947	△228	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	20,220	21,458	1,238
建物・工作物	7,175	6,947	△228	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	20,220	21,458	1,238
無形固定資産	76	76	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	22,192	23,602	1,410
建物・工作物	-	-	-	純資産	△9,441	△11,079	△1,639
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	5,500	5,500	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
土地	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	基金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
重要物品	-	-	-	その他債権	-	-	-
図書館資料	-	-	-	資産の部合計	12,751	12,523	△228
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	12,751	12,523	△228
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

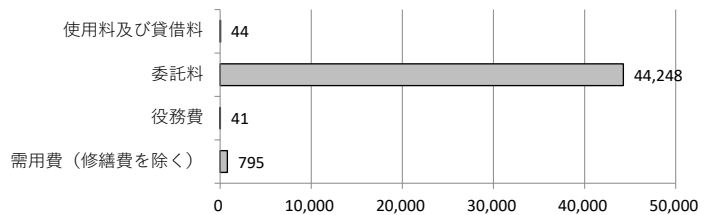
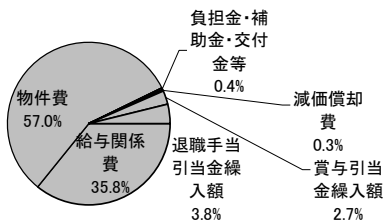
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	3.7人	-日	46日	33,553
給与関係費等	33,167千円	-千円	386千円	
内、時間外勤務手当	1,667千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	南山田市民ギャラリー(建物)減価償却による228千円の減
無形固定資産	電話加入権
重要物品	絵画1点

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	南山田市民ギャラリー
取得年月日	平成16年(2004年)7月(供用開始)
建物・工作物の取得価額	11,420千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,473千円
利用料金収入	24千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	8.1	-	△ 8.1
施設老朽化比率		35.2	37.2	39.2	2.0
受益者負担比率		0.2	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		95.2	82.9	81.9	△ 1.0
経常費用対公共資産比率		654.6	612.8	693.5	80.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・経常費用のうち、物件費が57%、給与関係費が35.8%を占めています。物件費のうち98%を事業等の委託料が占めています。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得なかった事業もありましたが、感染症拡大防止策を講じ、市民劇場、ティーンズクラシック、市民文化祭等の事業を概ね実施することができました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

幅広く文化事業を実施し、市民が文化や芸術に触れる機会を提供しています。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が影響を受けましたが、今後も市民が文化や芸術に触れる機会を保障できるよう事業展開をしていく必要があります。